

平成28年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	マイクロ流体アプローチによる1細胞トランスクリプトーム解析とその応用展開
研究代表者	藤井 輝夫（東京大学・生産技術研究所・教授）※平成28年6月末現在
研究期間	平成28年度～平成32年度
審査結果の所見	<p>本提案は、応募者のオリジナルなEMA（ethidium monoazide：選択的膜透過性色素）法と解析プロトコールの融合による応用的なテーマであり、各要素技術は完成度が高いため、実現性が高いと考えられる。学術基盤の構築という側面が薄いとの懸念もあったが、応募者の一細胞トランスクリプトーム解析技術は、バイオ、医学関係への波及効果が極めて大きなテーマであり、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>